

園内画像配信停止のお知らせ

日頃は当園へのご理解、ご協力を賜りありがとうございます。
さて、見出しにもあります園内画像配信につきましては、保護者の皆様のご協力を頂き、今日まで安全に運営してまいりました。

夏の水遊び時期には、配信を停止するなどして細心の注意を払ってまいりました。
ところが、名古屋市内の小学校では複数の盗撮映像が SNS で流出しており、また最近では、今朝の報道番組でも取り上げられておりましたが、保育園や工場の防犯カメラ映像500件が海外サイト流出。家庭用見守りカメラや防犯カメラの画像流出が多数報告されております。

当園では、平成14年、新園舎完成当時から、安心安全のための画像配信を実施してまいりましたが、今後、犯罪に悪用されるケースも出てくる可能性も考えられますため、業者と園とで検討した結果、大変残念ではありますが画像配信を停止させて頂くことと致します。
ご理解のほど 何卒よろしくお願い致します。

尚、園内では防犯も含め録画はしておりますので、何か問題がございましたら、お声掛けください。

読売新聞の記事 2025.11.04

保育園内の映像流出5年、園児の着替えも…理事長絶句「想定外だ」

園庭のような場所で子供らがドッジボールを楽しみ、室内では幼児らが布団を並べて寝ている――。取材班がたどり着いたあるサイトには、日本の保育園とみられる映像が映し出されていた。比較的鮮明で、子供が着替える様子も映る。映像の説明欄には、英語で「アジア、日本」「幼稚園」と書かれ、カメラのインターネット上の住所にあたる「IPアドレス」や「タイプ（型番）」、映像が同サイトに公開された時期も記されていた。取材班は「日本」「幼稚園」などに分類された三つの映像について、カメラがある施設の特定を試みた。映像が外部に公開されていることを伝えるためだ。最大12個の数字などからなるIPアドレスから、三つは同じ施設に設置されたものと推定された。映像の切り取り画像から、類似の画像をインターネットで検索すると、全く同じ園庭が上位に表示された。関西地方にある保育園のホームページの画像だった。

保育園や工場の防犯カメラ映像、500件が海外サイト流出… 設定に不備「犯罪に悪用される恐れも」

日本の屋内・敷地内に設置され、インターネットにつながった「ネットワークカメラ」のライブ映像約500件が海外のサイトに公開され、誰でも見られる状態になっていることが読売新聞と情報セキュリティ会社「トレンドマイクロ」（東京）の調査でわかった。屋内の映像は保育園や食品工場など90件。設置場所・状況を確認できた屋内のカメラの大半は、防犯・見守りや安全管理を目的に導入されたもので、無断でサイトに公開されていた。読売新聞とトレンドマイクロが9～10月、国内外のネットワークカメラのライブ映像を収集・公開しているサイトを調べた結果、海外で運営されている7サイトが確認された。7サイトの映像数は少なくとも計約2万7000件あり、日本に分類された映像は計約1340件に上った。